

札幌みらい塾 2023
ACF アートサロン
in カナモトホール

住んでいるってことは
毎日見るということで
毎日見るものが
影響しない訳はない。



毎日美しいものを見
るということは
生きる上での
大きな得だと
わかりました
—MAYA MAXX

北国への移住が、 表現の転換点となって

2023. 3/27 mon

開場 18:00 開演 18:30 終了予定 20:30

MAYA MAXX トークイベント

聞き手 来嶋路子

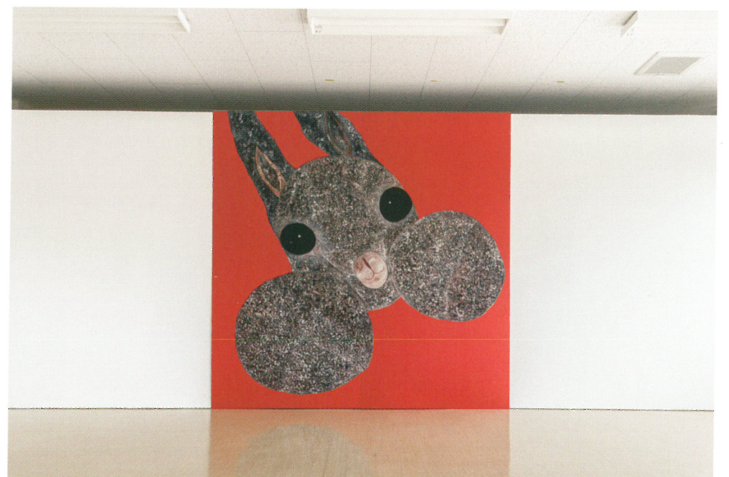
会場/カナモトホール (札幌市民ホール) 中央区北1条西1丁目 二階会議室 1-2

料金/一般¥1,500 ACF 会員・学生・V-net 会員¥1,000

ご予約・お問合せ/ACF 札幌芸術・文化フォーラム メール/ sapporoacf@gmail.com 電話/090-3110-6575 (有田)

主催/ACF 札幌芸術・文化フォーラム、大和リース (株) 後援/さっぽろアートボランティア・ネットワーク (V-net)





北国への移住が、表現の転換点となって



MAYA MAXX 画家、絵本作家

1993年にMAYA MAXXの名前で制作をスタートしてから、ラフォーレミュージアム（原宿）など、さまざまな地域で展覧会を開催。2008年から約10年、何必館・京都現代美術館で作品を発表。テレビ出演やワークショップの開催など多彩な活動でも知られている。2020年、東京から岩見沢市美流渡地区に移住。2021年より旧美流渡中学校で定期的に「みんなとMAYA MAXX展」開催。2022年、同市志文町にあるモリタン冷凍庫の壁面に巨大なクマを描くなど、まちじゅうに絵を描く取り組みを続けている。岩見沢市のコミュニティラジオ局エフエムはまなすにて毎週金曜夜9時より「MAYA MAXXのplaypray」を放送中（市外はYouTubeにて配信）。



來嶋路子 編集者

森の出版社ミチクル代表。約20年、美術出版社でアートとデザインの書籍や雑誌を制作。『みづゑ』編集長、『美術手帖』副編集長などをつとめる。2011年に北海道へ移住。リモートワークで編集の仕事をする。2015年に編集者として独立。移住後、岩見沢に8ヘクタールの山を購入したのをきっかけに、独自の本づくりを開始。山購入の経緯をまとめたイラストエッセイ『山を買う』を刊行。2018年に人口わずか330人の集落・美流渡地区で出版活動を展開。2021年ローカルブックスという新しいレーベルを立ち上げ、地域のみんで本づくりをする仕組みを始める。現在、マガジンハウスウェブサイト「colocal」とJR北海道車内誌にて連載中。

新型コロナウイルス感染予防対策として下記にご協力ください。

●会場では常時マスク着用と入場時の手指消毒や検温をお願いします。●発熱やのどの痛みなど体調不良の方のご来場はお控えください。●入場時に半券裏面にお名前と連絡先を控えさせていただきますが、個人情報は感染症対策のみに使用し一定期間経過後破棄します。●状況により中止または延期となる場合がありますので予めご了承ください。